

基本目標 III

誰もが安心して暮らせるための社会環境づくり

少子高齢化の進行や核家族の増加などによって、家族や地域のあり方、ライフスタイルが多様化してきています。

このような中、誰もが安心して暮らせる社会環境にするためには、男女がともにワーク・ライフ・バランスの観点から仕事と家庭における子育て、介護等を両立できる支援や環境の整備が求められています。

また、年齢や性別に基づく固定的な見方や偏見を除去し、高齢者・障がい者も社会を支える重要な一員として、積極的な社会参画を促進するとともに安心して日常生活を送ることができるような社会環境の整備が求められています。

また、健康面においても、女性特有の乳がん、子宮がんに対する健康不安や、男性に多く見られる様々な健康不安の対策と解消が大きな課題になっています。

このようなことから、すべての男女が身体的特質を十分に理解し、家庭・地域において健康で安心して暮らせるために、市民、地域、職場、行政等が一体となった取り組みを行う必要があります。

- | | |
|----------|--------------------------|
| 主要施策 3-1 | 多様なライフスタイルに対応した子育て支援策の充実 |
| 主要施策 3-2 | 高齢者・障がい者等に対応した福祉環境の整備 |
| 主要施策 3-3 | 生涯を通じた健康支援 |

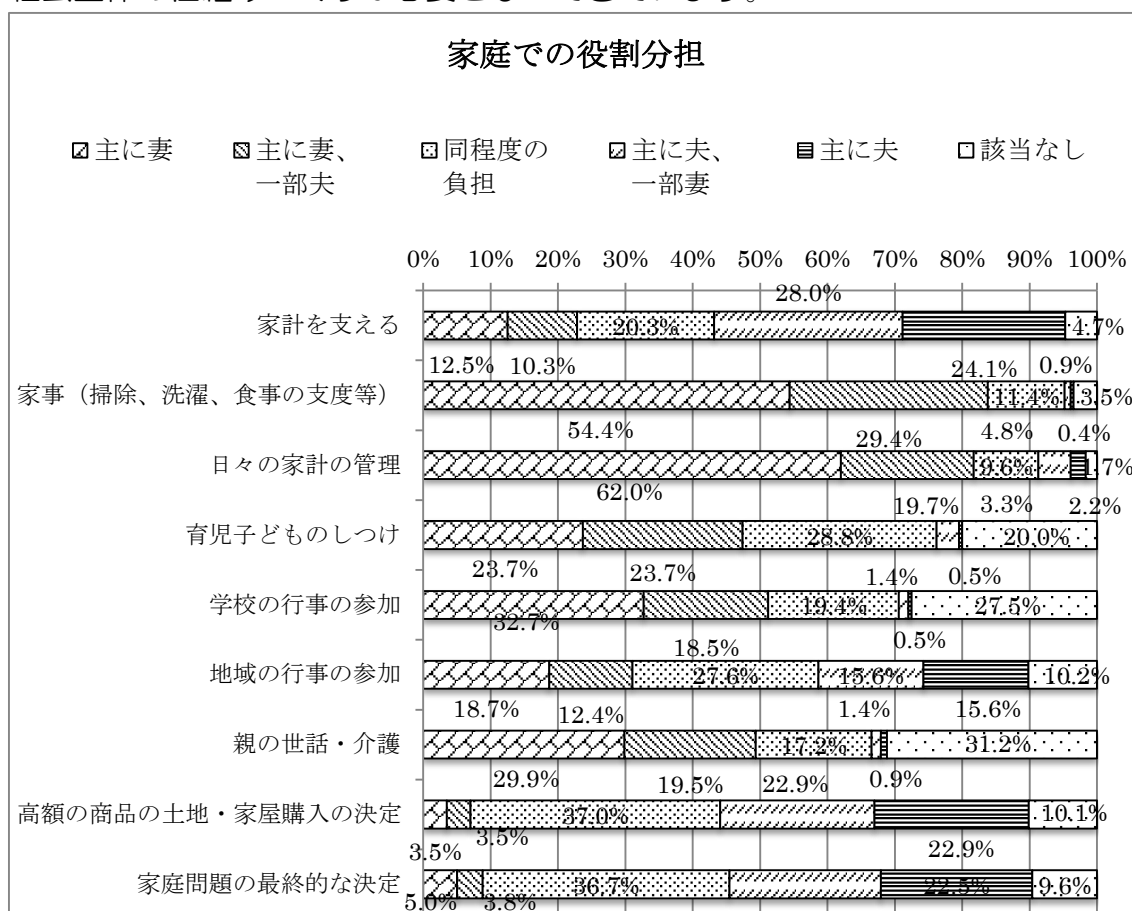
主要施策３－１ 多様なライフスタイルに対応した子育て支援策の充実

現状と課題

子育ては、市民一人ひとりが社会全体の取り組みとして理解し、支援するべきものであることから、仕事と子育てとの両立による負担を緩和し、安心して子育てができるような環境整備を進めることが重要です。

また、子育ての孤立化に伴う不安やストレスによる児童虐待の防止と救済のためには、相談・支援体制の充実が必要であり、更にひとり親家庭については、生活支援や就労支援などによる経済的、社会的自立を促進するための支援策の一層の充実が求められています。市民意識調査では、「学校の行事の参加について」で主に妻が32.7%に対して主に夫は0.5%、と子育ての多くは女性が担っていることが伺えます。

共働き世帯や核家族世帯、ひとり親世帯が増加する中で、子育てに関して、固定的な性別役割分担意識を改善し、また、子育ての悩みや負担を軽減できる社会全体の仕組みづくりが必要となってきました。



資料：平成 27 年度日南市男女共同参画社会づくりのための市民意識調査

施策の展開

1 子育てに関する固定的な性別役割分担意識の改善

- (1) 子育てに関する市民活動への市民ボランティアの参加及び、ファミリーサポートセンターの援助会員登録を促進します。
- (2) 父親が参加しやすいイベントや育児教室等の開催など、性別役割分担意識の改善を図ります。

2 子育て、保育環境の整備

- (1) 育児相談、保護者間の交流を行う「つどいのひろば」の充実を図ります。
- (2) 地域子育て支援センターの充実を図ります。
- (3) 休日保育や病児、病後児保育等の保育サービスの充実を図ります。
- (4) 放課後児童クラブの拡充や弾力的な運営による子育て環境の充実を図ります。
- (5) ファミリーサポートセンターの充実を図ります。
- (6) 地域全体で子どもを育む支援体制を整備します。
- (7) ひとり親家庭等に対する支援の充実を図ります。



施策指標

施策の指標	単位	H21 年度	現況値 (H26 年度)	目標値 (H32 年度)
病児・病後児保育実施施設数	箇所	2	2	4
延長保育実施施設数 (早朝を含む)	箇所	9	12	17
一時預かり実施施設数	箇所	7	11	18
休日保育実施施設数	箇所	—	1	2
病児・病後児保育利用者数	人	644	660	1,812
「つどいのひろば」利用者数	人	12,146	16,972	27,000
放課後児童クラブ・学童保育 実施施設数	箇所	5	8	14
放課後児童クラブ利用者数	人	133	334	454
地域子育て支援センター利用 者数	人	6,250	7,081	7,000
ファミリーサポートセンター 会員数	人	—	184	320

主要施策３－２ 高齢者・障がい者に対応した福祉環境の整備

現状と課題

少子高齢化が進行する中、本市における高齢化率は、平成 27 年 4 月 1 日現在で 33.8%、一人暮らしの高齢者数は 5,835 名となっています。

今後、高齢化の更なる進行が予測されることから、高齢者介護を社会全体で支えるための介護サービスと地域全体における支援体制の一層の充実が求められており、その際には要介護者はもちろん介護者の人権にも配慮することが重要です。

そのため、家庭や地域において、性別に関わりなく、一人ひとりが相互に協力できるようになるための取り組みや支援は、介護の負担軽減につながるとともに、男女共同参画の実現のためには極めて重要なものです。

また、高齢者・障がい者の社会参画を促進し、生きがいを持つことができるようになるためには、高齢者・障がい者が社会を支える重要な一員として社会と関わりを持ち続け、充実した生活を実現できるよう、様々な形での社会参画機会を提供することや環境の整備に努めることが重要です。

そのうえで、高齢者・障がい者の積極的な社会参加が一層活発になることが予想されることから、高齢者・障がい者が暮らしやすい環境の整備や安心して生活できる事業・制度の充実を図ることも必要です。

このようなことから、年齢や性別に基づく固定的な見方や偏見を除去し、すべての市民が社会を支える重要な一員として活躍できるように環境を整備するとともに、その活動を支援できる体制をより充実させることが求められています。

・介護保険認定者状況

人 口	高齢者数	要支援	要介護	高齢化率	認定率
56,130 人	19,059 人	1,053 人	2,805 人	34.0%	20.2%

・障がい者手帳交付状況

身体障がい	知的障がい	精神障がい	計	交付率
3,929 人	669 人	263 人	4,861 人	8.6%

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

施策の展開

1 高齢者に関する福祉環境の整備

- (1) 介護サービスの充実（介護保険事業計画に基づく施策の推進）を図ります。
- (2) シルバー人材センターの機能を生かした高齢者の生きがいづくりを推進します。
- (3) 男性の高齢者クラブ参加など、高齢者の地域活動の積極的な参加を促進します。

2 障がい者に関する福祉環境の整備

- (1) 障がい者に対する理解と交流を促進する等、日南市障害者計画・障害福祉計画を推進します。
- (2) 障がい者の生活相談支援の充実を図ります。
- (3) 障がい者の就労及び日常生活支援を推進します。
- (4) 障がい者の社会的自立に向けた支援体制を整備します。

3 高齢者・障がい者の介護における固定的な性別役割分担意識の改善

- (1) 男性も対象とした家族の介護に関する講座を開催します。
- (2) 男女共同参画社会づくりの講座への積極的な男性の参加を推進します。

施策指標

施策の指標	単位	H21 年度	現況値 (H26 年度)	目標値 (H32 年度)
高齢者クラブの会員数	人	3,142	2,902	3,200

主要施策３－３　生涯を通じた健康支援

現状と課題

男女がお互いの思いやりと理解のもとで生涯を通じて、心身ともに健康で過ごすことは、男女共同参画社会を実現するためには重要なことです。

特に女性は、妊娠・出産の可能性があることから、男性とは異なった健康上の問題に直面します。

平成２６年度の本市における生活習慣病の発症や重症化を予防する目的の特定健康診査の受診率は３７.８％、女性特有の子宮がんの受診率は、２３.５％・乳がんの受診率は、２１.６％となっており、早期発見をするためにも受診率の向上に努める必要があります。

また、自殺者数が近年増加を続ける中で、本市の平成２５年度自殺者数は、１４人、うち男性が１０人（７１.４％）となっていることから、健康、経済、仕事など様々な問題に関する悩みの相談、解消を図る必要があります。

このようなことから、女性や男性の特有な疾病などが多くあることを社会全体が認識し、それぞれの予防や対策を充実し、男女がいきいきとして生活できる環境の整備が必要になってきています。

施策の展開

１　男女それぞれの特有疾病等の対策の充実

- (１) 男女の特定健康診査の受診率の向上を図ります。
- (２) がん検診推進事業の推進を図ります。
- (３) 自殺対策の普及啓発と対策事業の推進を図ります。

２　健康に関する市民啓発の推進

- (１) 健康にちなん２１計画に基づく施策の推進を図ります。
- (２) 健康教室、健康相談の充実を図ります。

施策指標

施策の指標	単位	H21 年度	現況値 H26 年度	目標値 (H32 年度)
特定健診受診率	%	27.4	37.8	60.0
子宮がん検診受診率	%	17.1	23.5	50.0
乳がん検診受診率	%	16.4	21.6	50.0
健康教室参加者数	人	246	1,935	2,700
健康相談参加者数	人	71	615	1,100